

はぐくむ光のびる若芽

(155)

台 鈴木玲子

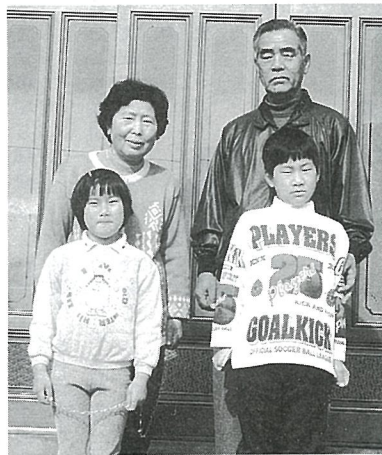
わが家は義父母、私達夫婦、小三の長男、小一の長女の六人家族です。長男の裕史はのんびり屋でマイペース型、性格は温厚でひょうきん者です。長女の佐和子は勝気で負けず嫌い、いつもお兄ちゃんを張り合っています。けんかもするけれど、とても仲のよい兄妹です。

わが家の一日は、「私の早くしなさい」で始まります。毎朝七時すぎ「元氣に行ってください」と手を振って出かける後ろ姿に、「行ってらっしゃい、今日も一日頑張つてね」と声をかけるまで戦争のようです。毎朝□うるさく言う私に、最近では一人が「お田さん、まあそうかつかないで」と言うようになりました。それを聞くにつれ苦笑してあがる気もなくなりました。以前家庭教育学級で、親が□うるさく言わない方が、子供の自主性を養え

るといつ話を聞きました。私はとてもそんなにできた母親になれないな、と思いつつも、もう少し我慢してみようかなと反省したりしています。

わが家は共働きなので、子供達は義父母がみてくれます。「ただいま」と帰ると「おかえり」とおばあ

やさしさの中にも強さのある子に



▲2人とも動物が大好き
1匹の柴犬が家族の仲間入り...

いらしい家族が増えました。生後二か月の柴犬です。家族で相談し、子供達も協力するという事で飼うことにしました。二人とも動物は大好きで、学校から帰ると散歩させたり、エサをあげたりとよく世話をしてくれます。動物を飼うことにより、思いやりやさしさを身につけてくれたらと思う

ちゃんの声、おじいちゃんとお風呂に入つて内緒の話をする、そんなあたりまえの光景でも、義父母の存在が子供達の心の安定につながっていると思います。私達のできない部分を埋めてもらっていることに対し、本当に感謝しています。

最近わが家に一匹のかわ

ています。今の世の中、厳しいことはありますが、とにかく元気で、自分の意志表示のできる、やさしさの中にも強さのある子に育ってくれたらと思っています。



保健婦メモ

あなたを待っている人がいる

いのちのボランティア「骨髄移植」

骨髄バンクが発足5周年を迎え、移植例数も順調に増え全国で1000例に達する予定です。現在、約7万8千人の人が骨髄提供者(ドナー)として骨髄バンクに登録されています。

そこで「骨髄移植」とは何か、あらためてお知らせします。

骨髄とは

血液の製造工場

骨そのものでなく、腰や胸の骨の内部にあるゼリー状の組織です。この骨髄液の中にある骨髄幹細胞から赤血球、白血球、血小板などの血液成分が作られます。

骨髄移植とは

骨ではなく骨髄幹細胞の入れ替え

白血病、再生不良性貧血、先天性免疫不全症などの血液の難病は、有効な治療法がなく治りにくい病気でした。しかし現在では、病気の患者の骨髄幹細胞と、骨髄を提供して下さる方(ドナー)の健康な骨髄幹細胞とを入れ替えることで、正常な造血機能を取り戻すことが可能になりました。これが骨髄移植です。

骨髄バンクとは

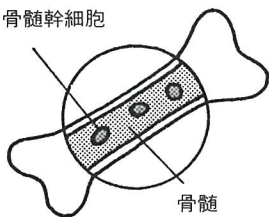
骨髄移植の成功のためには患者とドナーの白血球の型を一致させる必要があります。この一致する確率は兄弟姉妹で4人に1人、それ以外の非血縁者では数百から数万人に1人と稀なため、広く一般の方々から善意の骨髄提供を募る「骨髄バンク」が生まれました。

ドナーの登録方法

まず、骨髄移植推進財団に骨髄バンク登録のしおり「チャンス」を請求します。それをよくお読みになり希望される場合は巻末のハガキで申し込みをします。登録の問合せ、資料の請求先(骨髄移植推進財団フリーダイヤル

☎01200-377465

骨髄幹細胞



登録は血液検査のみ

登録は腕から採血して、適合するか調べます。骨髄液採取は4~5日の入院が必要で、腰の骨から注射器で吸引します。自己複製能力があるので、1か月ほどで元の状態に戻り、日常生活に支障がありません。

